

自国維公 = 「地獄行こう」

参院選に向けパンフレット活用しよう

齋賀 史郎 (豊中市)



としてお伝えしたい。

政府が窓口負担に拘るのは不要な受診と不要な医療を増やさないためという「詭弁」を紹介したが、それ以外にも窓口負担を是とする考えがある。それは「医療」というサービスを受けたのだから、サービスに対する対価を支払うのは「当然」だという経済取引・等価交換の原則と「医療を受けるという利益を得たのだから」という受益者負担の発想である。

前者に関しては伊藤弁護士が「そもそも医療とは経済活動ではない。経済取引は能動的・積極的

6月15日号で神戸で開催された「窓口負担ゼロの会」の様子を報告したが、他にも印象的な発言があったので、「続編」

に行われるが、病気になるのは自分の意思ではない」と喝破している。後者に至っては兵庫協会の理事長が「病を得て医療を受けた患者は受益者ではない。受益者である。その受難者に経済的な負担まで押し付けるなど倫理に悖る。受難者負担など論外」と知的でユーモアある発言でその非を明らかにしている。それにしても「受難者負担」とは言い得て妙である。

口腔内、バブル期より悪化

糠谷 吉秀 (吹田市)



わたしは平成2年(1990年)から吹田市内で開業している。まだバブル期だったが、患者の口

納品は宅急便だ。往復の時間や送料、負担も評価されていないのだから、

歯科治療費を海外との比較で見ると、どれだけ日本の歯科治療が正当に評価されていないかが歴然としている。

歯科の評価が低いため、技工所の経営も厳しい。私のところでは、近隣までは技工士さんが来なくなっている。技工士4人ほどでやっている江坂の技工所に、私自身が型を持参している。

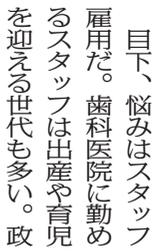
政策パンフレット 「歯科医療に 正当な評価を」 好評です

スタッフ雇用と少子化対策

高尾賢太郎 (豊中市)

の代替えができると思っ

正直、政府の現状の政策では事業所への支援、医療機関の経営への理解



目下、悩みはスタッフ雇用だ。歯科医院に勤めるスタッフは出産や育児を迎える世代も多い。政府は少子化対策として事業所にかかった経費という名目で上限50万円の助成制度を作っているが、それで専門職員1人

の費用をかけても育児職員の代わりのスタッフをすぐさま雇用できる状況にはない。スタッフがいなければ診療を継続することが非常に難しい。歯科医院1人のスタッフの価値がただか50万円程

度であるわけがない。特に、歯科医院はチームで患者さんへ医療を提供するという点で、継続性・専門性も問われる。そもそも、なぜ歯科医院が雇用に窮る状況にあるのか。問題は一つ一つ側面的に起こっているのではない。社会保障という視点で全体を充実にしていくことが少子化対策にもつながっていくのではないか。

スタッフが生産に入る

存在意義があるとするなら、最低限国民の生命・健康・財産を守るべきで

生命・健康を守ってくれる候補者と政党に投票しようではないか。

口腔内の状況は今より良かった。その頃の患者は夜、遅くまで仕事をしていても受診していた。しかし、最近の患者は悪くならないと来ない。窓口負担が1割から3割になったこと、非正規雇用が増えたことが理由だ。医療費の窓口負担は患者にとって重い。国は患者の重症化を招かないよう、窓口負担の軽減に責任を持つべきだ。

低下させた上に患者の医療費負担を上げる事になってしまふのだ。

維新が本気で国民の家計の事を考えて、医療保険料を引き下げたいと思っ

永田 篤 (茨木市)



OTC処方薬を保険から外す話とか、そのことで

難病医療や子ども医療費助成の対象患者にも大きな自費負担が発生してしまっ

維新「保険料引き下げ」はまやかし

各政党の党首討論、多くの方が見たかもしれないが、維新は「家計の中

で社会保険料がすごく高いからここを下げるんですよ」と宣伝している。

保険料を下げることは宣伝するが、国の医療費を4兆円削減するために、

わたしは医療者自らがかまかれないようにするとともに、患者に事実を伝えていかなければならないのではない

お申し込みは右のQRコードから協会行事予定をご確認ください



協会行事案内

【会員限定】
口腔機能低下を見逃さない！現場で活かす歯科衛生士の視点と工夫
日時 7月27日(日) 午前9時～午後1時
会場 M&Dホール
講師 古土井春吾氏(甲南医療センター 歯科口腔外科部長)
会費 5千円 定員 80人
※お申し込みは電話かファックスにて

【会員・スタッフ対象】三島地区講習会 (Zoom限定)
日時 7月27日(日) 午前10時～正午
講師 小原由紀氏(宮城高等歯科衛生士学院教務主任、東京都健康長寿医療センター 研究所非常勤研究員)
会費 無料 定員 100人
※Web限定の講習会のため、申込にはメールアドレスが必須です。

【会員・スタッフ対象】サマーセミナー (Zoom併用)
医療費4兆円削減問題について
日時 8月23日(土) 午後3時～5時
会場 M&Dホール、WEB併用
講師 長友薫輝氏(佛教大学准教授、日本医療福祉政策学会副会長)
会費 無料
定員 現地60人、WEB200人

【スタッフ対象】
チエアサイド講習会 バキューム実習
日時 8月24日(日) 午前10時～午後1時
会場 とみもと歯科(地下鉄中央線「朝潮橋」駅から徒歩10分)
講師 富本昌之氏(大阪市港区開業)
会費 5千円 定員 16人

【会員・家族対象】
ベースアップ評価料実績報告書作成講習会
日時 8月24日(日) 午前10時30分～正午
会場 M&Dホール
講師 経税担当事務局
会費 無料 定員 80人

【無料相談】
税務相談 8月20日(水) 14時～17時(1時間枠)
雇用相談 8月21日(木) 14時～16時(30分枠)
法律相談 9月1日(月) 14時～16時(30分枠)
システム相談 第3土曜日 14時～17時(1時間枠)
※会場は保険医会館。1週間前までに要申し込み

参加ご希望の方は、必ず事前にお申し込み下さい。M&Dホールは保険医会館東隣りです。